



受験激励特別号

高校入試 「自分を信じ切る！」 「己に勝つ！」

いよいよ沖縄県立高校入試の日が迫ってきました(1日目:3月4日(火)国・理・英、2日目:3月5日(水)社・数・面接)。3年生のほとんどの皆さん、この県立高校入試が本命となります。豊崎中学校1期生のみなさんには、是非とも笑顔で春を迎えてほしいと心から願っています。入試を前に心落ち着かず、と思う生徒は多いかと思いますが、ここは発想の転換で、「バタバタしてもダメ、受験の日は必ずやってくる。それなら、前向きに考える方が良いに決まっている。」前向きとは、『自分を信じ切る！』ことです。

また、高校入試での戦う相手は周りの人達ではなく、自分自身、そう己(おのれ)です。自分の不安や弱気な気持ちに打ち勝つ事『己に勝つ！』から始まるのです。間近に迫った試験、健康状態を万全にして全ての力を発揮して臨んで下さい。

受験生に贈る、5つの言葉

1. 緊張しない人なんていない

この受験で夢(高校生活)に向かっての第一歩がスタートする。そして、この1年、入試当日に向けて頑張ってきたわけだから、緊張しないわけがありません。無理に、「緊張しちゃダメだ」と思うのではなく、「みんな緊張するものだ。緊張しない人なんていない」と割り切ってしまい、緊張することに慣れてしまいましょう。気持ちが少し楽になります。

2. 不安でない人なんていない

何かひとつでも不安に感じると、あれもこれもと、心配ごとがどんどん増えていきます。でも、それはみんな同じです。不安を引きずってしまうと、本番で本当の実力を発揮できません。入学後の楽しい高校生活を想像して、前向きな、気持ちで過ごして下さい。

3. 隣の人は天才に見えない→※〈隣の芝は青く見える〉ことわざの変形

〈隣の芝は青く見える〉ということわざがあります。これは「自分よりも周りが良さそうに見える」という意味ですが、受験では〈隣の人は天才に見えない〉という気持ちでいきましょう。「受験会場の周りの人はみんな同じくらいの学力」です。

4. あきらめなければ合格できる

何より大切なことは、あきらめないこと。「あきらめたら、そこで試合終了」何度も言われていると思います。1ミリでも、1%でも望みがある限り、最後まで全力で問題に向かおう。たかが1点でも、とれる点はとっていこう。「チリも積もれば山となる」です。

5. 受験生活は人生の財産

受験生活に無駄な事はひとつもありません。苦しい受験勉強や、やりたい事を我慢してきた経験は成長につながります。受験生活で得られるものは勉強の成果だけではありません。絶対に今後の人生の役に立ちます。